

事であった。

#### 4. 終わりに

大気化学の視点から深い議論を行うには、大気化学に特化した他の学会と比較すると、本シンポジウムに若干の物足りなさを感じたことは否めない。しかし、合同で行われたポスターセッションでは気象学の基礎的・基盤的なトピックスにも触れることができ、大変有意義であった。

最終日の講演終了後、学会会場でフィエスタ(Fiesta)と称して、その名の通り盛大なお祭りが行われた。カラフルな衣装を着ておめかしした子供たちによる民族ダンスショーや、メキシカンフードのサービスなどがあった。ここでもインディアン、スペイン、アングロサクソンの文化が入り混じったニューメキシコを実感することができ、さまざまな分野を内包する気象学会とだぶって見え、その年會を開催するにふさわしい場所であったのではないかと改めて感じられた。

#### 謝 辞

今回のシンポジウム参加にあたり、日本気象学会国際学術交流委員会より旅費の一部を援助していただきました。ここに謝意を表します。また、本稿の査読をしてくださった気象研究所の山本 哲編集委員に深く感謝いたします。

#### 参 考 文 献

- Brune, W., 2000 : OH and HO<sub>2</sub> : Sources, interactions with nitrogen oxides, and ozone production, IGACTivities, (21), 3-6.
- Lelieveld J., P. J. Crutzen, V. Ramanathan, M. O. Andreae, C. A. M. Brenninkmeijer, T. Campos, G. R. Cass, R. R. Dickerson, H. Fischer, J. A. de Gouw, A. Hansel, A. Jefferson, D. Kley, A. T. J. de Laat, S. Lal, M. G. Lawrence, J. M. Lobert, O. L. Mayol-Bracero, A. P. Mitra, T. Novakov, S. J. Oltmans, K. A. Prather, T. Reiner, H. Rodhe, H. A. Scheeren, D. Sikka and J. Williams, 2001 : The Indian Ocean Experiment : Widespread Air Pollution from South and Southeast Asia. Science, **291**, 1031-1036.
- Thompson A. M., J. C. Witte, R. D. Hudson, H. Guo, J. R. Herman and M. Fujiwara, 2001 : Tropical Tropospheric Ozone and Biomass Burning, Science, **291**, 2128-2132.

#### 略語一覧 (アルファベット順)

- AER Atmospheric and Environmental Research, Inc.
- GOES Geostationary Orbiting Environmental Satellite (NOAAの現業用静止気象衛星)
- GSFC Goddard Space Flight Center (ゴダード宇宙飛行センター)
- NASA National Aeronautics and Space Administration (米国航空宇宙局)
- WMO World Meteorological Organization



### 「第23回沖縄研究奨励賞」候補者の推薦募集

標記の賞について、(財)沖縄協会から受賞候補者の推薦募集がありました。

1. 対象：沖縄を対象とした将来性豊かな優れた研究(自然科学・人文科学または社会科学)を行っている50歳以下(7月15日現在)の新進研究者またはグループ
2. 内容：本賞、および副賞として研究助成金50万円
3. 応募方法：必要書類を9月30日(消印有効)まで

に(財)沖縄協会へ郵送。学会・研究機関・大学または実績のある研究者の推薦が必要。

詳細な募集要領と応募用紙は日本気象学会事務局にあります。またホームページ

<http://village.infoweb.ne.jp/~fvgm0090/>

にも掲載されています。なお気象学会の推薦を希望する場合は、必要書類を準備の上、9月10日までに日本気象学会事務局に提出して下さい。